

日本建設機械レンタル協会宮城支部

平成 28 年度 第 4 回理事会 議事録

日 時 : 平成 28 年 11 月 16 日 (水) 12:00~14:00
場 所 : 協会会議室
出 席 者 : 菅野支部長、山本、池田、東海林(代理伊藤)、石井、蛭名各副支部長、
後藤、浦田、横山(代理小山)、伊藤(代理高橋)、野里、中野 (代理大塚)、
天道各理、宝池監事 計 14 名
欠席 3 名 事務局 小原

—配布資料—

1. 平成 28 年新春懇話会・賀詞交歓会 T・S
2. HP 調査集計表 (10/31 現在)
4. 盗難調査報告書 (10/31 現在)
5. 平成 28 年度収支報告書 (10/31 現在)
6. 分科会開催状況 (10/31 現在)
7. 新会計システム移行に伴う現金出納帳・預金台帳

山本専務理事が、開会にあたり上記出席者を確認し、理事会の成立を確認した。
又、議長は定款第 13 条第 4 項の規定により菅野会長が任にあたることを報告した。

* これより、菅野会長が議長を務めた。

* 菅野会長挨拶(要旨)

- ・東日本大震災から 5 年が経過したが、地元建設業の倒産等の話が出始めている。
我々としては、与信を再度徹底していく必要がある。
協会を取り巻く環境は、厳しさを増してゆくが、諸問題を解決すべく積極的に取り
組んでいきたい。諸問題として、過積載の防止、特定自主検査の強化月間、経年機
材の点検整備等々である。
本日も検討議題をスムーズに討議いただきたい。

以下省略

議事録署名人……日立建機日本㈱伊藤政浩理事 (代理) 高橋一氏、
㈱レンタルのニッケン天道太郎理事の 2 名を指名した。

1. 本部可発委員会（10/6）の報告-----菅野支部長
 - ・89%の合格率であつが、発電機の仕組み等での得点が低かつた。
 - 又、会場＝講師？により得点率が違ったようだ。
 - ・本部では資格制度の充実を模索している。
 - ・来年度は、資格更新の対象者が多い年になる予定だ。

以下省略

上記について、討議の結果異議なく承認された。

2. 平成 29 年新春懇話会・賀詞交歓会について-----小原事務局長
(別紙資料の通)
 - ・前回と同様の時間配分で進める予定である。
 - ・多くの会員・賛助会員に参加してもらいたい。
 - ・受付の応援として、カナモト及びアクティオから各 2 名をお願いする。
 - ・賛助会員以外に会員からの P R 希望者を募る。

以下省略

上記について、討議の結果異議なく承認された。

3. その他

① 分科会活動について

- ・マンネリ化防止の工夫が必要。
- ・横連携の強化を図る。(女子事務の参加、フロント担当の参加継続)
又、人事異動等による体制の不備を補う。
- ・分科会立ち上げ時の基本方針に戻す等の環境整備を行う。
- ・リーダー・副リーダー会を定期的に開催するとともに、協会三役との
意見交換を図る。
- ・経営トップによる自社営業担当者の分科会への参加促進を促す。
- ・リーダーの交代時期等、考慮してあげる。
- ・コミュニケーション能力強化に繋がる。
- ・参加会員が偏る。不参加会員の減少に取り組む。
- ・開催時テーマを決め、参加者のレベルアップを目指す。
- = 部会長・リーダー・副リーダーの再整備及び経営トップを含めた
営業担当者のレベル強化に取り組む
- ・タイヤショベルによる雪かきの見積もりで激安の価格が露見した。
よく考えた営業活動をしてほしい。

② 次回開催日は、平成 29 年 1 月 20 日（金）15：30～

新春懇話会・賀詞交歓会の開催時：仙台サンプラザ

③ 事務局報告

- ・HP 結果の報告（別紙資料の通り）今後も継続して周知に取り組む。
- ・盗難調書・収支報告等別紙資料の通
- ・28 年度収支状況は、会費は略入金済、未収会費は本部扱いの会費のみ、支払については、今後も厳しく対応してゆく。（費用対効果の徹底）
- ・現金出納帳、預金台帳の手書きを 10 月末で終了とし、今後は新会計システムにより管理していく。

以下省略

上記について、討議の結果異議なく承認された。

平成 28 年 11 月 16 日

議事録署名人

理 事

日立建機日本(株)

高橋 一

理 事

(株)レンタルのニッケン

天道 太郎

